

防災士からのおはなし その3 (上馬まちづくりセンター 所長 村上 陽一)

●お気軽に、お問い合わせください。

「13ひろば」では、今まで2回にわたり災害に備える「上馬式携帯防災パック」・「上馬式枕元安心セット」をご紹介してきました。

読者の方から「どこで買えますか」「実物を見たい」などの声をいただいています。上馬まちづくりセンターの窓口で実際に御覧いただけます。販売はしていませんが、お気軽にお声かけください。

1995年の阪神・淡路大震災では、震災後に閉じ込められた人のうち、約80%が近隣の人や家族に助けられています。日頃から町会活動や高齢者クラブ、サロン・ミニデイや趣味のサークル活動などで顔見知りが多いほど助け合うことができます。活動に興味のある方は、上馬まちづくりセンターにお問い合わせください。

●感謝状をいただきました。

上馬まちづくりセンターが、東京消防庁から多年にわたる救急行政の推進への積極的な協力に対して感謝状をいただきました。

消防署や警察署、区役所は、災害時にも区民の皆様への安全・安心のために協力する関係です。今後30年以内に70%の確率で起こると言われる大地震に備えるため、今回の感謝状を職員一同励みにしていきます。



まちかどコーナー ～なんだろう、これは?～

その3

タンチ山って?



武蔵野の自然が残る駒沢のシンボル「タンチ山」は駒沢中学校の敷地内にあります。タンチ山には遊歩道があり、さわやかな風を感じながら森林浴をすることが出来ます。タンチ山にまつわる民話「タンチ山の夫婦たぬき」をご紹介します。

昔、タンチ山のふもとに彦兵衛という百姓が住んでおりました。

ある日突然、タンチ山にお寺を建てることになり、立ち退きするようお達しが来ましたが、彦兵衛は山に住むたぬきやリスが可哀そうだとお役人に訴え、彦兵衛の家や周りの雑木林をそのまま残してもらおうことになりました。この話を聞いていた夫婦たぬきやリスの親子はとても感激しました。

翌春、竜巻やひょうに村が襲われ、また夏には冷雨が続き農作物が不作となり、食べるも



タンチ山の遊歩道

のにも困るような状況になりました。ある晩「トン、トン」と裏戸をたたき音がするので、彦兵衛が板戸を開けると、たぬきが米俵を抱えて立っておりまして。その後も大勢のリスが大豆や小豆・麦などを小さな両手で運んできました。

たぬきもリスも彦兵衛に恩返しに訪れた、という心温まる世田谷の民話です。

近くにお住いの方は、立ち寄りてみてはいかがでしょう? (お立ち寄りの際は、駒沢中学校の職員の方にお声掛けをお願いします。また、学校の門が開いていない場合はお立ち寄りいただけません。予めご了承ください。)

新コーナー

気楽にパチリ



たくさんご応募いただいた中から、編集委員が選考しました!



「カフェでお茶する蝶々」
(久島士郎さん)

2匹の蝶が仲良くそれぞれの花の蜜を吸っています。



「上馬からの赤富士」
(平石忠秋さん)

自社ビルの屋上から撮りました。



「桜満開」
(横溝尚行さん)

キャロットタワーと桜のコンビの場所を探し求めた!



「旧道の四つ辻に建立された馬頭観音」
(川根正教さん)

古くからある道の四つ辻に祀られた馬頭観音。文化13(1816)年に上馬引沢村の人びとによって建立された。「あわしまみち」と刻まれ、道標も兼ねている。

応募方法

「13ひろば」では皆さんが撮影した写真を大募集!
風景・人物・ペットなど、皆さんが「気楽に」撮った写真をお送りください。

データで写真をお送りいただける方

二次元コードを読み込むと表示される「13ひろば」のLINE公式アカウントに、写真とともに①氏名(ご希望の方はペンネームを併記) ②住所③電話番号④作品タイトル⑤作品への一言コメントをお送りください。



現物写真をお送りまたはお持ちいただける方

【送付先】〒154-0011世田谷区上馬4-10-17
上馬まちづくりセンター内「13ひろば」事務局
上記まで、①氏名(ご希望の方はペンネームを併記)②住所③電話番号④作品タイトル ⑤作品への一言コメントを明記の上、ご郵送または窓口へお持ちください。

紙面に掲載された方にはQUOカードをプレゼント!

※いただいた個人情報は適切に管理します。